

ぼうさい通信 Vol.1



平成 29 年 7 月 16 日発行
熊本県立湧心館高等学校

毎月16日は「防災教育啓発の日」

熊本地震の教訓を生かし、防災意識の高揚と防災対応能力の向上を図る取組の一環として、本校では毎月16日（4月16日：熊本地震本震の日になんで）を「防災教育啓発の日」と定め、啓発資料の配付・掲示等を行うこととしました。これから、防災に関する様々な情報を発信していきます。知識や考えを深め、適切な対応ができるよう、この「ぼうさい通信」を活用してください。

土砂災害から身を守る

この度九州北部を襲った記録的な豪雨は、福岡、大分両県を中心に大きな被害をもたらしました。犠牲になった方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

これまでも日本各地で、また県内においても多くの土砂災害が発生しています。梅雨や台風の時期には特に注意が必要です。

▼1時間に20ミリ以上、または降り始めてから100ミリ以上の雨量

▼土砂災害の前兆現象

- ・山鳴りがする
- ・川の流れが濁り流木が混ざり始める
- ・雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- ・斜面から水が噴き出す
- ・地面にひび割れができる
- ・沢や井戸の水が濁る
- ・小石がパラパラ落ちてくる

特
に
注
意
！
こ
ん
な
時
は

熊本県の過去の主な土砂災害

平成 15 年

水俣市を中心とした
県南集中豪雨災害
(死者 19 名)

平成 24 年

阿蘇地方を中心とした
熊本広域大水害
(死者・行方不明者 25 名)

【参考】熊本県防災ハンドブック

大雨情報や土砂災害警戒情報などに注意し、明るいうちに、安全な場所に、早めの避難を心がけましょう！

湧心館高校・熊本支援学校合同学校運営協議会を開きました

防災型コミュニティスクールの取組として、6月20日（火）本校において、両校の関係職員・保護者、近隣小中学校長、校区自治会代表、行政機関の担当者による協議会を開催しました。適切な連携と役割分担のもと、今後も防災に向けた取組を進めるとともに、発災時の避難所開設・運営の在り方についても協力体制を確立・強化していきます。